

市の人口と予算 (10月1日現在)

人口・世帯 ()内は前月比/前年同月比

合計 = 174,437人 (+364 / + 2,736)

男 = 86,652人 (+182 / + 1,343)

女 = 87,785人 (+182 / + 1,393)

世帯 = 71,849世帯 (+169 / + 1,804)

予算

一般会計 = 538億2,544万4千円

特別・企業会計 = 446億 175万9千円

流山本町・利根運河 秋のさんぽ特集

遠くの名所より、
地元の秋

休日は、流山に行こう!

新しい市街地と豊かな緑とが調和する流山の街には、訪れる人をゆったりと迎えてくれる、ふたつのエリアがあります。江戸～明治の建物がレストランやギャラリーとなって軒をつらねる「流山本町」。おいしい空気と野鳥のさえずりにつつまれた「利根運河」。休日は、「流山」へ出かけてみませんか?

☎流山本町・利根運河ツーリズム推進室 ☎7168-1047



NPO 法人流山史跡ガイドの会
理事長 青柳 孝司さん

流山本町のお薦め
散歩スポットは、江
戸川土手からの絶景
です。本町界隈のレト
ロな街並みが一望で
き、晴れた日には本



町を背に、左手に富士山と東京スカイ
ツリー、右手に筑波山が望めます。ま
た、夕暮れ時の散歩もお薦め。約80
基の手づくりの切り絵行灯が街並みを
灯しています。一つ一つデザインの異な
る切り絵がはめ込まれた行灯から、街
の歴史を感じ取れます。秋の一日、流
山本町を散歩してみませんか。史跡ガ
イド(商工課☎7150-6085に要申し
込み)も行っています。



夕暮れ時の流山本町と切り絵行灯

立ち止まれば
懐かしさにつつまれて



流山フォトコンテストH25 最優秀グランプリ賞「運河朝焼け」(岩本孝雄さん撮影)

野鳥の声に
澄んだ空気と
いやされる

利根運河交流館

館長 岡田 裕さん

春は桜、夏は緑、秋は
曼珠沙華など、四季折々
の景色が楽しめる利根運
河。耳を澄ませば、鳥の
声や魚が跳ねる水音が聞
こえる癒しの空間です。



深まる秋とともに、これからの時季は紅
葉も楽しめます。桜並木の黄葉を見なが
ら、運河の南岸を運河橋から東へ歩くと、
お薦めスポット「眺望の丘」があります。利
根運河の曲線美が実感できる場所で、対岸
には常緑樹の中に鮮やかな紅や黄色が映
える林があり、とても美しいです。秋の利
根運河を、ゆっくりと散策してみませんか。

流山本町江戸回廊でレトロさんぽ

来春で開業100周年を迎えるローカル鉄道・流鉄流山線の単線にガタゴトゆられて到着する流山本町。そこで出会うのは、100年以上街の歴史を見つめてきた商家や蔵などの由緒ある建物たち。カフェやレストラン、ギャラリーとして生まれ変わり、今も大切に受け継がれています。

1 一茶双樹記念館 開業20周年

小林一茶と流山の醸造家ゆかりの地

白みりんの醸造で財をなした秋元三左衛門の自家跡。五代目・三左衛門(排号・双樹)と親交のあった小林一茶はたびたびこの家を訪れ、俳句を残しました。



DATA ☎7150-5750
(営) 9:00~16:50
(休) 月曜(祝日の場合は翌日)
(料) 一般100円、小・中学生50円

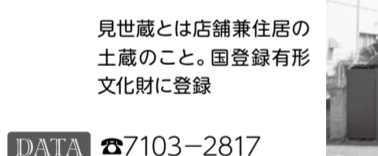
一茶と双樹の親交を記念して住居を偲ぶ庭や商家などを再現。敷地内には一茶が流山で詠んだ一割を刻んだ石碑も見られます

2 万華鏡ギャラリー 寺田園茶舗 見世蔵



幻想的な万華鏡の世界
1889年(明治22年)に建てられた茶の店「寺田園茶舗」の旧店舗を改装。万華鏡ギャラリーとして市内在住の万華鏡作家・中里保子さんの作品展示などを行っています。

珍しい万華鏡がずらり。お土産に最適なお手頃価格の商品も



DATA ☎7103-2817
(営) 10:00~17:00 (休) 月・火曜(祝日の場合は翌日)

3 清水屋

100年変わらぬやさしい和菓子の味

1902年(明治35年)の創業時と同じ製法で伝統の味を守り続ける和菓子店。自家製あんがおいしい「陣屋もなか」は近藤勇陣屋跡をかたどった名物菓子。



国登録有形文化財に登録されている店舗兼母屋。正面の看板は現在では再現が難しい職人技が光るモルタル塗り看板

DATA ☎7158-0140
(営) 12:00~19:00 (休) 水曜

4 丁字屋

和モダンな空間でイタリアン

1923年(大正12年)築の町家造りの建物を改装し、元々の足袋屋の屋号を店名に使用。重厚な行まの店内では、本格的な釜焼きピッツァや生パスタを楽しめます。



白みりんの甘味に辛味をプラスした、特製・本町ポロネーゼ温泉卵添え

DATA ☎7192-7953
(営) 11:00~16:00、予約制で18:00~22:00 (休) 月曜

5 呉服・婦人服 新川屋

大黒天と恵比寿が見守る老舗呉服商

1846年(弘化3年)創業の呉服商で、現在の建物は1890年(明治23年)築。着物のほか、ストールや足袋靴下など日常使いにも便利な和小物が充実しています。



国登録有形文化財に登録されている土蔵造りの建物。南側には大黒天、北側には恵比寿がやさしいほほ笑みで鬼瓦に鎮座

DATA ☎7158-0015
(営) 10:00~19:00 (休) 毎週水曜、第2・3木曜

6 カフェ+ギャラリー 灯環

蔵で味わういやしのカフェ時間

国登録有形文化財に登録されている「笹屋土蔵」で、店主が夢だったカフェをオープン。蔵ならではの重厚感漂う空間は、ギャラリーとしても使われています。



こだわりの食材で作るごはんプレート。りんごとチーズのみりんバターケーキはお土産にも

DATA ☎7158-0221
(営) 10:30~17:30 (休) 月・火曜(祝日の場合は翌日)

7 あんばせ屋 蝦夷夢

本場スープカレーの味に舌鼓

北海道出身の店主が切り盛りする札幌スープカレーの店。昆布や玉ねぎなどから作る味わい深いスープが特徴。店内には懐かしい音楽が流れ、郷愁を誘います。



種類が多様な札幌スープカレー

DATA ☎7199-2408
(営) 11:00~※閉店時間はお問い合わせください。(休) 水曜

8 ましや

着物のよろず相談処として150年

1859年(安政6年)に呉服太物商として創業。江戸から平成の今に至る150年以上にわたり、流山の人々の、着物や着付けに関わるもろもろを提供しています。



「呉服ましや土蔵」は明治期の土蔵造りの様子を随所に残す建造物として流山市指定有形文化財に指定

DATA ☎7158-1018 (営) 10:00~19:00 (休) 毎週水曜、第2・3木曜

流山本町ってどんなところ?

- 江戸川沿いに位置し、江戸~明治・大正時代にかけて江戸との舟運の中継点として、行き交う人々にぎわいました。今でも明治前後の建物が残り、随所に往事の面影が漂います。
- 流山は「白みりん」誕生の地。江戸中期、二代・堀切紋次郎の手により「万上味淋」が、五代目・秋元三左衛門によって「天晴味淋」が誕生しました。現在、そのまろやかな甘さを生かして、本町内の店舗でもさまざまなメニューに使われています。
- 全長5.7kmの単線走る流鉄流山線は1916年(大正5年)に開通。みりん栄える流山本町とJR馬橋駅を結ぶ鉄道として、街の繁栄に一役かかってきました。

交通アクセス

- つくばエクスプレス「流山おおたかの森」駅西口7番乗り場から京成バス「市役所方面行き」で「流山市役所」バス停下車 ※バスは「流山おおたかの森駅西口」バス停より約30分~35分間隔で運行
- JR武蔵野線・JR常磐線「新松戸」駅から、流鉄流山線「幸谷」駅に乗り換えて「流山」駅下車
- 車の場合、駐車場(有料)はマップを参照

流山本町江戸回廊さんぽマップ

知る お茶 食事 バス停 WC トイレ

毎年8月、流山1丁目~3丁目の江戸川堤で開催される流山花火大会。心地よい音楽と美しい花火が夜空を彩ります。

赤城山の土が流れ着いてできた小山に神社が鎮座。この伝説が「流山」の由来とされています。長さ約7m、重さ約500kgの大しめ縄は一見の価値あり。

2016年3月で開業100周年
町民の出資による開業から、来春で100周年を迎える流鉄流山線。さまざまな記念イベントが企画されています。

流鉄の鉄道の日 開催
11月1日(日) 10時~15時 流鉄流山駅構内
流鉄子供博士認定会、鉄道部品の展示、グッズ販売、運転席での撮影会など
流鉄(株)運輸課 ☎7158-0117

10 管理栄養士のビストロ EIZEN

おいしく食べて塩分2g未満!

管理栄養士の店主がヘルシーでおいしい料理を研究し、ビストロをオープン。塩分2g未満ながら、調理法や素材の工夫で驚くほどの味わいと満足感を楽しめます。



DATA ☎7103-8853
(営) 11:00~17:00 (休) 毎週水曜、第2・4木曜



メニューは週替わり。白みりんを使った濃厚ショコラブディングはやさしい甘さ

9 流山あかり館 彩

美濃和紙の照明をインテリアに

岐阜県美濃市の名産・美濃和紙を漉くところから、職人によって一つ一つ手作りされた照明器具や小物を展示・販売しています。



和紙が放つ温かな光につつまれた店内

DATA ☎7150-3131
(営) 10:00~18:00 (休) 月・火曜



築約80年の建物を改装した店構えが和紙照明にマッチ



卓上用からシャンデリアまで種類はさまざま

オランダ遺産利根運河で深呼吸さんぽ

自然あふれるいやしのある場所であるとともに、周辺には立ち寄りスポットも多くある利根運河。水辺の心地よい風の中、のんびりと散策をお楽しみください。



平成18年、「土木学会選奨土木遺産」に認定された利根運河

① 利根運河交流館

利根運河の歴史や自然環境の資料展示を行うほか、交流の拠点として多様な活動を展開。レンタサイクル(半日250円、1日500円)もあります。

「うんがいい! 朝市」

毎月第4土曜の8:30~12:30、地域のお店や農家が運河水辺公園に集い、季節の野菜や果実、特産品などを販売しています。※10月は開催しません。

DATA ☎7153-8555 (営) 9:00~17:00 (休) 月・火曜 (祝日の場合は翌日)



「うんがいい! 朝市」の様子

④ ギャラリー 平左衛門

歴史ある蔵がモダンなギャラリーに

約120年前に造られた土蔵を修復し、貸しギャラリーとしてオープン。作品展示のほかクラシックギターなどの演奏会にも利用されています。蔵の窓からは、絵画のように切り取られた運河や竹林の借景を眺めることができます。ゆったりとくつろげるカフェもあります。

DATA ☎7153-9215 (営) 10:00~16:00 (休) 月~水曜



② 窪田酒造

140余年の歴史を刻む酒蔵

1872年(明治5年)創業。代表銘柄「勝鹿」のほか、濃厚な旨味が特徴の本みりん「宝船」も醸造。見学もできます(要申し込み)。

DATA ☎7125-3331 (営) 9:00~17:00 (休) 日曜、祝日



歴史を感じさせる木造の酒蔵

⑤ えか流山自然農場

自然農法の野菜を収穫体験

無農薬で化学肥料を一切使わず、独自開発の有機性肥料と知恵を生かした農法で作物を栽培。年間約80種作られる野菜やハーブは、同直売所で購入可能。また、畑で収穫体験もできます(有料)。

DATA ☎7197-2233 (営) 10:00~15:00 (休) 土・日曜、祝日ほか天候による



③ 割烹新川 小さなギャラリー

散策途中にギャラリーで一息

利根運河に臨む緑あふれるロケーションにある、古い蔵を改装したギャラリー。「運河を散策するときに一息つける休憩場所」という声をきっかけにオープンし、利根運河の風景写真などを展示しています。敷地内には、明治創業の割烹旅館の旧館を利用したブラスリー(フレンチ)や、割烹もあります。詳細はお問い合わせください。

DATA 割烹新川 小さなギャラリー: ☎7152-1008
ブラスリーしんかわ: ☎7196-7633



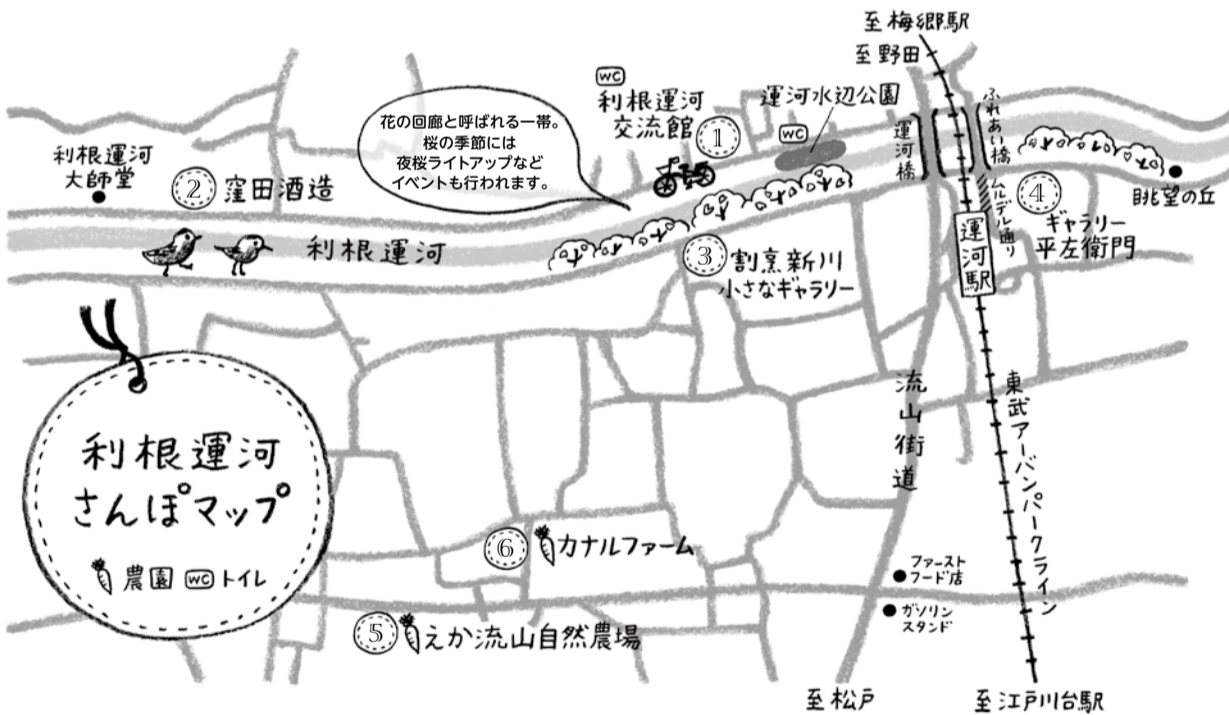
門に入って右側にあるギャラリー。自由に鑑賞できます

⑥ カナルファーム

ムルデルゆかりの農家

利根運河の設計を担ったムルデルが、かつてこの家の離れに寄宿していたことが農園名の由来。「子どもに安心して食べさせられるものを」と、無農薬・減農薬で野菜や果樹を栽培し、無添加のジャムやシロップを手作りしています。

DATA ☎7137-9487 ※営業時間などはお問い合わせください。



通水125周年記念式典&シアターナイト 10月17日(土)運河水辺公園で開催

▶ 利根運河通水125周年記念式典

ことし通水125周年を迎える利根運河で、記念式典を開催します。西深井小学校・吹奏楽部の演奏で開会し、オランダ大使のメッセージ披露や、手水石の除幕式などを行います。式典終了後には、ジャズ奏者・瀬戸郁寛さんやオペラ歌手・渡邊真弓さん、ピアニスト・濱野由佳さんによるプレミアムライブもあります。
▷時間=12時40分~13時30分(ライブは13時45分から)
※雨天時は式典のみ決行。

場 流山本町・利根運河ツーリズム推進室 ☎7168-1047

▶ 利根運河シアターナイト

運河水辺公園を舞台に、1年に一夜限りで開催。東京理科大学の学生が制作した映像作品やライトアップが水辺を幻想的に彩り、屋外カフェの出店もあります。
▷時間=16時~21時※雨天延期。予備日は18日(日)・24日(土)
場 利根運河交流館 ☎7153-8555 (月・火曜休館。祝日の場合は翌日)



井崎市長からのメッセージ

すがすがしい今日この頃、流山の秋を楽しんでみませんか。

私も時間を見つけては、よく「流山さんぽ」をしています。身近な市内に、ゆったりとした時間の流れを楽しめる空間や癒しの空間があります。史跡やギャラリーを巡りながら歴史と文化に出会える「流山本町」、マイナスイオンに満たされた紅葉の美しい森の散策が楽しめる「利根運河」。どちらもお薦めのスポットです。あなたの知らない流山を探しに、ご家族やお友達と出かけてみませんか。



流山市長 井崎 義治

利根運河ってどんなところ?

- 複雑なルートで運搬していた東北地方から東京への物資を、安全で早く運べるようにと計画されたのが利根運河開削の始まり。土木技師として抜擢された、優秀なオランダ人技師ローウェンホルスト・ムルデルの設計・監督のもと、2年間という短い工期で1890年(明治23年)に開通しました。
- 航行する船でにぎわう最盛期を経て、次第に運輸が陸路へと移りゆき、やがて水運としての役割は終えました。その後、利根運河復興を願う声から「運河水辺公園」が整備され、現在の姿へと生まれ変わり、今年で通水125周年を迎えます。
- 運河では「うんがいい! 朝市」のほかにも、「桜まつり」をはじめ、ウォーキングイベント、「シアターナイト」など季節のイベントも開催されています。

交通アクセス

- 東武アーバンパークライン「運河」駅下車3分
※利根運河周辺には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。